

①外国語(英語)コアカリキュラム対応表(一覧)

外国語(英語)コアカリキュラム対応表(一覧)

大学名	名城大学
学部・学科等名	国際学部・国際文化学科

<小学校>

ページ	各科目に含めることが必要な事項	対応授業科目(1)	対応授業科目(2)	対応授業科目(3)
	教科に関する専門的事項			
	各教科の指導法			

<中学校>

※「教科に関する専門的事項」は、「一般的包括的科目」のみ記載すること。

ページ	各科目に含めることが必要な事項	対応授業科目(1)	対応授業科目(2)	対応授業科目(3)	対応授業科目(4)
2	教科に関する専門的事項	英語学	英語音声学 英文法		
3		英語文学	イギリス文学 アメリカ文学		
4		英語コミュニケーション	高等英語オーラル・コミュニケーション 高等英作文		
5		異文化理解	英米文化概論Ⅰ 英米文化概論Ⅱ		
6 7		各教科の指導法	英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ		

<高等学校>

ページ	各科目に含めることが必要な事項	対応授業科目(1)	対応授業科目(2)	対応授業科目(3)	対応授業科目(4)
2	教科に関する専門的事項	英語学	英語音声学 英文法		
3		英語文学	イギリス文学 アメリカ文学		
4		英語コミュニケーション	高等英語オーラル・コミュニケーション 高等英作文		
5		異文化理解	英米文化概論Ⅰ 英米文化概論Ⅱ		
6 7		各教科の指導法	英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ		

②外国語(英語)コアカリキュラム対応表

英語学

全体目標: 中学校及び高等学校における外国語科の授業に資する英語学的知見を身に付ける。

到達目標: 1) 英語の音声の仕組みについて理解している。
2) 英語の文法について理解している。
3) 英語の歴史的変遷及び国際共通語としての英語の実態について理解している。

<外国語(英語)コアカリキュラムチェック表>

英語学		項目			
		到達目標 /授業回	1)	2)	3)
(シラバスのページ番号及び授業回)	英語音声学 (p.1)	1	○		
		2	○		
		3	○		
		4	○		
		5	○	○	
		6	○		
		7	○	○	○
		8	○		
		9	○		○
		10	○	○	
		11	○	○	
		12	○		
		13	○		
		14	○		
		15	○		
		16	○		
	英文法 (p.3)	1	○	○	○
		2		○	○
		3		○	
		4		○	
		5		○	○
		6		○	○
		7		○	○
		8		○	
		9		○	
		10		○	
		11		○	
		12		○	
		13		○	
		14	○	○	
15			○	○	

◎ ←到達目標に係る授業を**単独**の授業回で行う場合
○ ←到達目標に係る授業を**複数**の授業回にわたって全体的に行う場合

②外国語(英語)コアカリキュラム対応表

英語文学

全体目標:

英語で書かれた文学を学ぶ中で、英語による表現力への理解を深めるとともに、英語が使われている国や地域の文化について理解し、中学校及び高等学校における外国語科の授業に生かすことができる。

到達目標:

- 1) 文学作品において使用されている様々な英語表現について理解している。
- 2) 文学作品で描かれている、英語が使われている国や地域の文化について理解している。
- 3) 英語で書かれた代表的な文学について理解している。

<外国語(英語)コアカリキュラムチェック表>

英語文学		項目			
		到達目標 ／授業回	1)	2)	3)
(シラバスのページ番号) 授業科目名及び授業回 (p.9)	イギリス文学	1			
		2	○	○	○
		3	○	○	○
		4	○	○	○
		5	○	○	○
		6			
		7	○	○	○
		8	○	○	○
		9	○	○	○
		10	○	○	○
		11	○	○	○
		12			
		13	○	○	○
		14	○	○	○
		15	○	○	○
	アメリカ文学 (p.15)	1	○	○	○
		2	○	○	○
		3	○	○	○
		4	○	○	○
		5	○	○	○
		6	○	○	○
		7	○	○	○
		8	○	○	○
		9	○	○	○
		10	○	○	○
		11	○	○	○
		12	○	○	○
		13	○	○	○
		14	○	○	○
		15			

◎ ←到達目標に係る授業を**単独**の授業回で行う場合○ ←到達目標に係る授業を**複数**の授業回にわたって全体的に行う場合

②外国語(英語)コアカリキュラム対応表

英語コミュニケーション

全体目標:

中学校及び高等学校において、生徒の理解の程度に応じた英語で授業を行うための英語運用能力を身に付ける。英語運用能力としては CEFR B2レベル以上を目標とする。また、生徒に対して理解可能な言語インプットを与え、生徒の理解を確かめながら英語でインタラクションを進めていく柔軟な調整能力を身に付ける。

- 到達目標: 1) 様々なジャンルや話題の英語を聞いて、目的に応じて情報や考えなどを理解することができる。
 2) 様々なジャンルや話題の英語を読んで、目的に応じて情報や考えなどを理解することができる。
 3) 様々な話題について、目的や場面、状況等に応じて英語で話すこと[やり取り・発表]ができる。
 4) 様々な話題について、目的や場面、状況等に応じて英語で書くことができる。
 5) 複数の領域を統合した言語活動を遂行することができる。

<外国語(英語)コアカリキュラムチェック表>

英語コミュニケーション		項目					
		到達目標 /授業回	1)	2)	3)	4)	5)
(授業科目名及び授業回 のページ番号)	高等英語 オーラル・ コミュニケーション (p.21)	1	○	○	○		○
		2	○	○	○	○	○
		3	○	○	○		○
		4	○		○	○	○
		5	○		○	○	○
		6	○	○	○		○
		7	○	○	○	○	○
		8	○		○	○	○
		9	○		○	○	○
		10	○	○	○		○
		11	○		○	○	○
		12	○	○	○	○	○
		13	○	○	○		○
		14	○	○	○	○	○
		15	○		○	○	
	高等英作文 (p.33)	1	○	○	○	○	○
		2	○	○	○	○	○
		3	○	○	○	○	○
		4	○	○	○	○	○
		5	○	○	○	○	○
		6	○	○	○	○	○
		7	○	○	○	○	○
		8	○	○	○	○	○
		9	○	○	○	○	○
		10	○	○	○	○	○
		11	○	○	○	○	○
		12	○	○	○	○	○
		13	○	○	○	○	○
		14	○	○	○	○	○
		15	○	○	○	○	○

◎ ←到達目標に係る授業を**単独**の授業回で行う場合○ ←到達目標に係る授業を**複数**の授業回にわたって全体的に行う場合

②外国語(英語)コアカリキュラム対応表

異文化理解

全体目標:

社会や世界との関わりの中で、他者とのコミュニケーションを行う力を育成する観点から、外国語やその背景にある文化の多様性及び異文化コミュニケーションの現状と課題について学ぶ。あわせて、英語が使われている国や地域の文化を通じて、英語による表現力への理解を深め、中学校及び高等学校における外国語科の授業に資する知見を身に付ける。

到達目標:

- 1) 世界の文化の多様性及び異文化コミュニケーションの現状と課題を理解している。
- 2) 多様な文化的背景を持った人々との交流を通して、文化の多様性及び異文化交流の意義について体験的に理解している。
- 3) 英語が使われている国や地域の歴史、社会、文化について基本的な内容を理解している。

<外国語(英語)コアカリキュラムチェック表>

異文化理解	項目				
	到達目標 /授業回	1)	2)	3)	
(授業科目名及び授業回 のページ番号)	英米文化概論 I (p.42)	1			○
		2			○
		3			○
		4			○
		5	○	○	
		6	○	○	
		7	○	○	
		8	○	○	○
		9	○	○	
		10	○	○	
		11	○	○	
		12			○
		13			○
		14			○
		15	○	○	○
	英米文化概論 II (p49)	1			○
		2			○
		3			○
		4	○	○	○
		5	○	○	○
		6	○	○	○
		7	○	○	○
		8	○	○	○
		9	○	○	○
		10	○	○	
		11	○	○	○
		12	○	○	○
		13	○		
		14	○		○
		15	○	○	○

◎ ←到達目標に係る授業を**単独**の授業回で行う場合○ ←到達目標に係る授業を**複数**の授業回にわたって全体的に行う場合

